

## 第二回基盤整備WG資料

# 長崎県でのデータ連携基盤への取組

---

2021/2/2

長崎県 次世代情報化推進室

# 長崎県でのデータ連携基盤への取組

## 長崎県内、各市町でのオープンデータへの取組

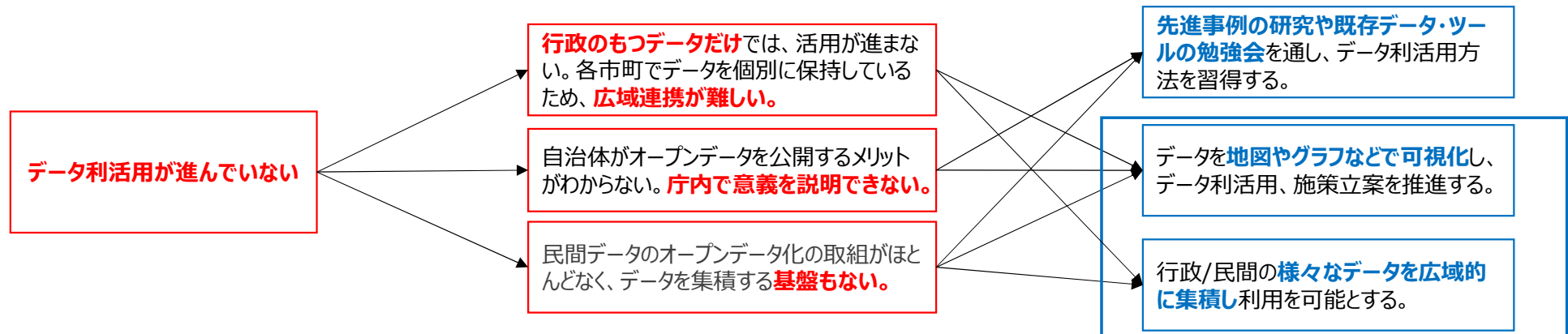
- R1.8月に、佐世保市を中心とする「西九州させほ広域都市圏」の9自治体がオープンデータサイト公開。
- R1.9月に、大村市がオープンデータサイト公開。
- R2.3月に、長崎市を中心とする「長崎広域連携中枢都市圏」の3自治体がオープンデータサイト公開。
- R2.10月に、**佐々町**がオープンデータサイト公開。
- R3.1月現在、**全21市町中、14市町にて**オープンデータサイト公開済み。

公開データ数	長崎広域連携中枢都市圏				西九州させほ広域都市圏											合計
	長崎県	長崎市	長与町	時津町	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	新上五島	佐々町	大村市	
R3.1月現在	524	30	14	30	820	12	21	22	18	12	32	10	14	3	12	<b>1574</b>

現状

課題

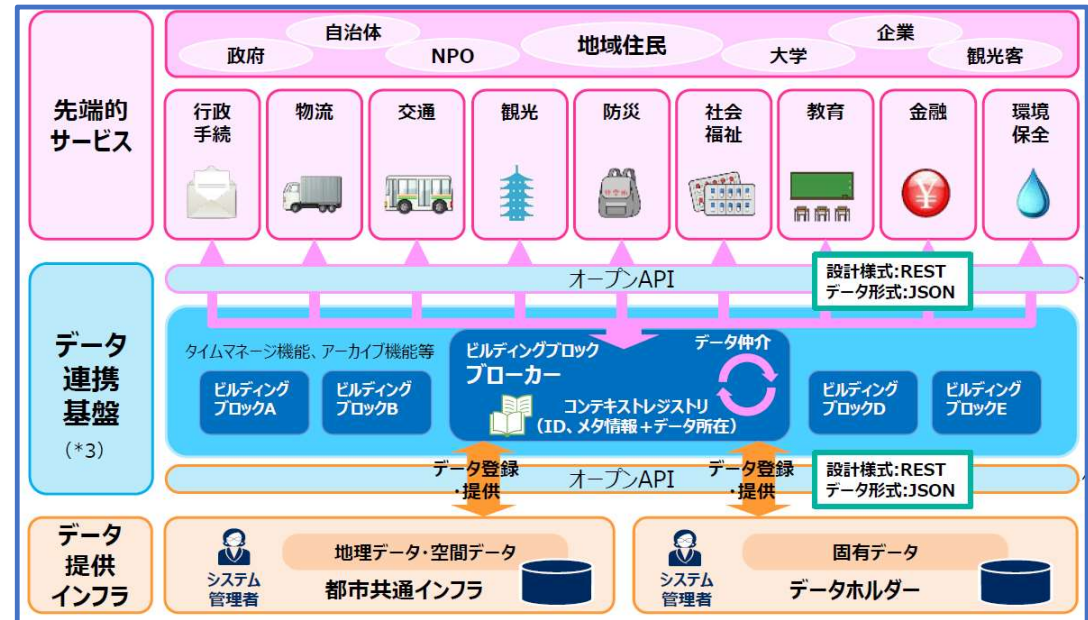
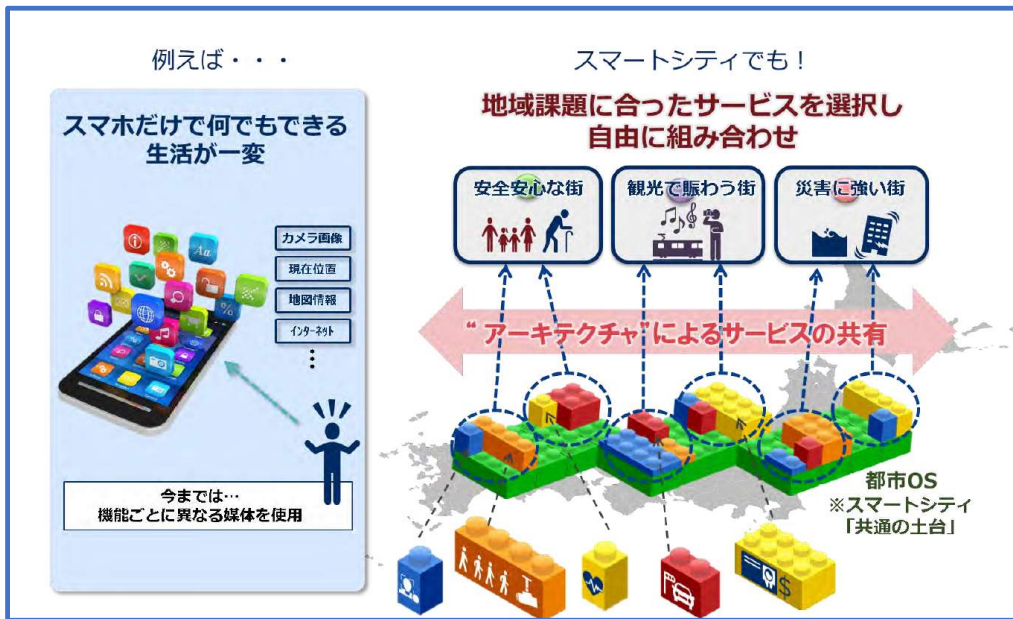
対応策



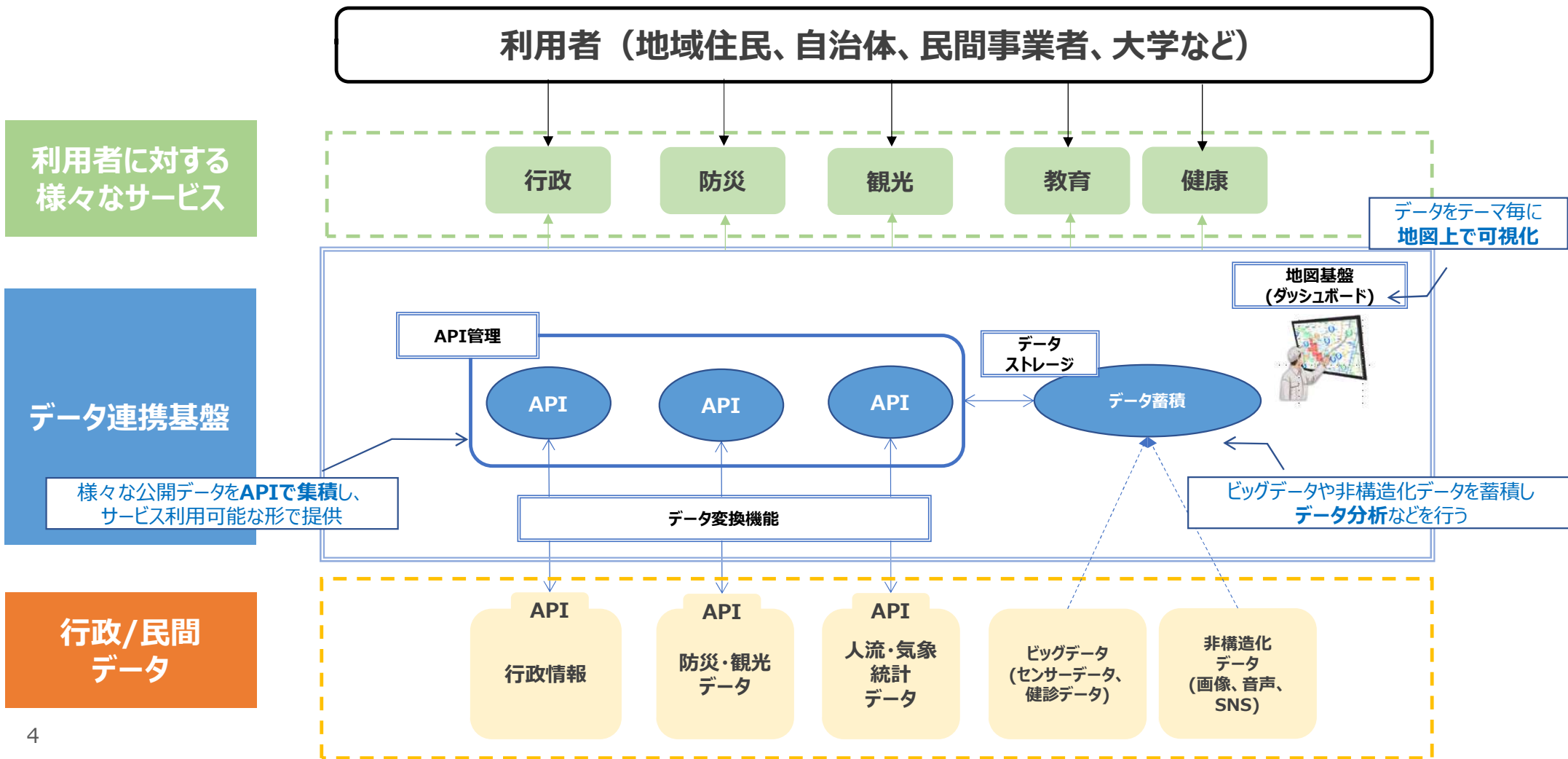
データ連携基盤に取り組むことにより、県内における行政/民間でのデータ利活用を加速させる。

# 長崎県でのデータ連携基盤への取組

- データ連携基盤（都市OS）とは**（参考：内閣府「スマートシティリファレンスアーキテクチャ」および「スマートシティの推進に向けて」）
  - 地域内外の様々なデータを仲介して連携させ、各都市における成果の横展開を可能とする仕組み。
  - 国のスマートシティの推進において、**各都市でデータ連携基盤を整備し、広域的な連携を図る**ことで、都市の抱える多様な地域課題を解決し、**Society5.0を実現**することが提起されている。
  - また、データ連携基盤の方式として、データ蓄積方式ではなく**分散型方式**を志向することが示された。※1  
 ※1.ただし、災害対応や、地域から求められる機能を提供するために最低限必要となる蓄積や、ビッグデータを解析する場合などは例外的に蓄積を許容する。
  - データ連携基盤を構築し、利活用した自治体も出てきている。（高松市、加古川市、富山市など）



# 長崎県でのデータ連携基盤への取組



# 長崎県でのデータ連携基盤への取組

## 国の指針について

- 「官民データ活用推進基本法」にて、「多様な分野における横断的な官民データ活用基盤の整備」（法第15条第二項）が定められ、地方公共団体においても、データ活用の環境整備が進展している。
- 国のスマートシティ推進において、**各都市でデータ連携基盤を整備し、広域的な連携を図る**ことで、都市の多様な地域課題を解決し、**Society5.0**を実現することが提起されている。（参考：内閣府「スマートシティリファレンスアーキテクチャ」および「スマートシティの推進に向けて」）

## 本県におけるデータ連携基盤の制度設計（案）

### ■ データ連携基盤の構築・活用

- ・ データ連携基盤の構築・運用には、多額の経費を要し、個別市町での基盤整備は非効率となるため、**まずは、県が中心となり、県・全市町一体となったデータ連携基盤を整備**
- ・ データ活用の利便性・有効性を確保し、民間企業による当該基盤活用のインセンティブとするため、**県全体（全市町）を網羅したデータ**を集積する。
- ・ データ利活用の促進のため、県全体で**オープンデータ化に取り組み**、データの標準化を行った上で、当該基盤へ集積する。また、各事業で取得したデータをオープンデータ化することを検討し、当該基盤へ集積する。

### ■ 費用負担の考え方

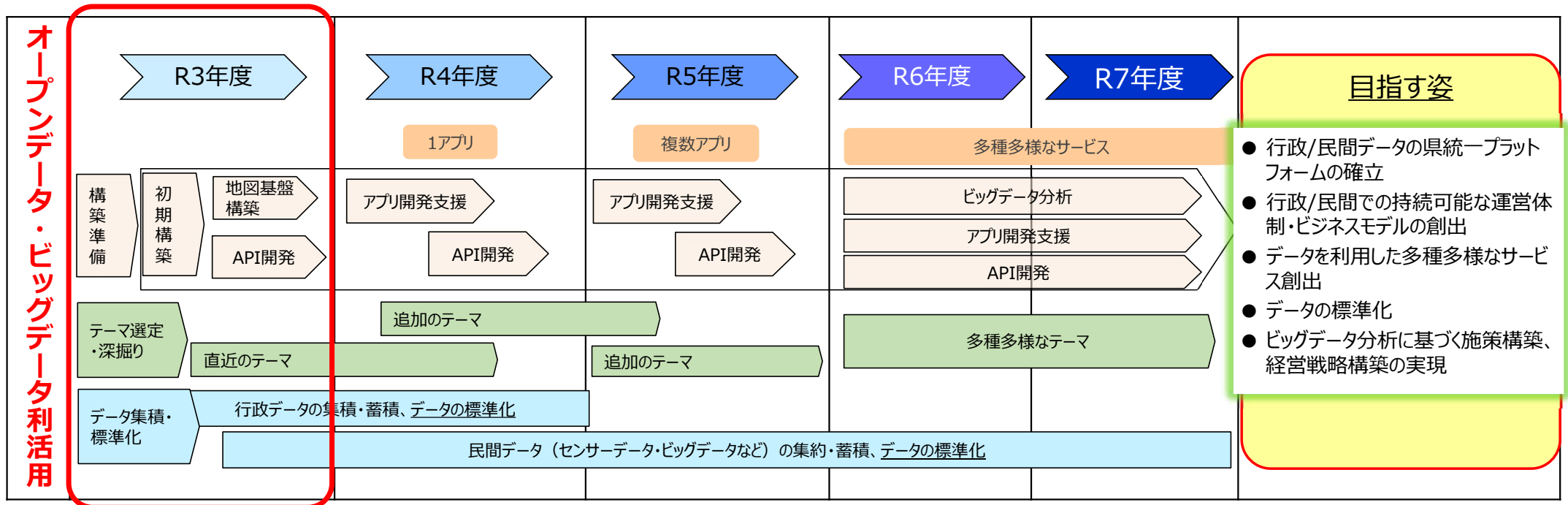
- ・ データ連携基盤の**立ち上げに係る経費**（初期構築費、令和3年度のサービス利用料・技術支援料）は、**県で負担**する。
- ・ データ連携基盤本格運用後（令和4年度からを想定）の経費については、**県・市町で負担**する。負担案は今後協議させて頂く。  
（負担案）固定経費：県・市町での均等按分      ランニングコスト：今後協議

### ■ 運営体制

- ・ 行政/民間での持続可能な運営体制・ビジネスモデルの創出を検討する。

# 長崎県でのデータ連携基盤への取組

## 目指す姿のためのロードマップ



令和3年度に取り組むテーマについて協議

# 長崎県でのデータ連携基盤への取組

## 第一回基盤整備WGでの主なご意見


### ■ テーマについて

#### ・ 特産品情報、観光情報

佐世保市では佐世保バーガーの情報が一番利用されていると聞いている。  
長崎市だと、ちゃんぽん、カステラなども同じように取組めれば使われるデータになるのではと考えている。  
コンベンション協会なども巻き込めば面白いデータになるかもしれない。

### ■ 市町のオープンデータ取組について

- ・ オープンデータに取組むにあたって、成果の**見える化**ができるといいと考えている。
- ・ 具体的なテーマがないと各課も取組む意欲がわからない。オープンデータの**見える化**も必要になると思う。



地図基盤等で可視化

### ■ データ公開に関する要望

#### ・ 県の持つ統計・分析データ

産業データ分析をオープンデータとして公開できないか。

## 民間事業者からの要望

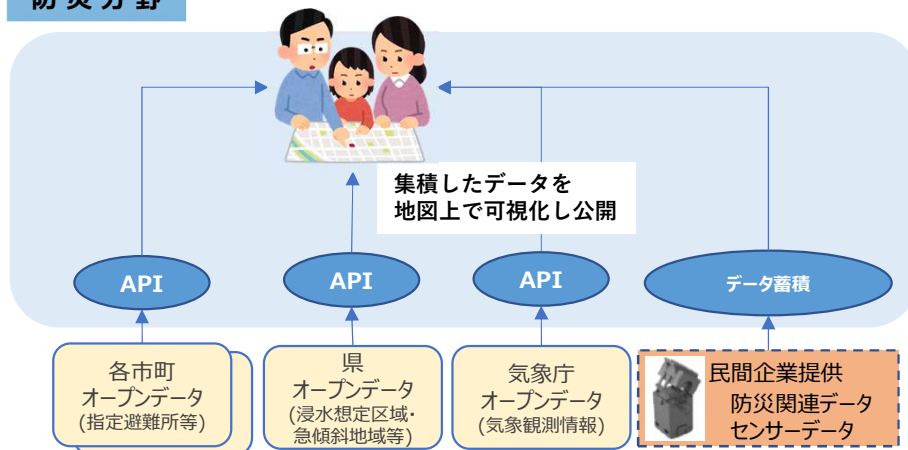
### ■ データ公開に関する要望

- ・ 地図を利用した新サービス開発のため、県下の**防災関連情報**（指定避難所、ハザードマップ、既往災害情報、）のデータの集積、オープンデータ化について要望あり。
- ・ **観光情報**（特産品店舗情報、観光施設情報、ウォーキングルート情報、バリアフリー情報、トイレ情報、）の県下データの集積、オープンデータ化について要望あり。

# 長崎県でのデータ連携基盤への取組

## 令和3年度における取組例（予定）

### 防災分野



### <目指す姿>

- ・ 河川水位、降雨量、急傾斜地、ハザードマップなどの情報を集積し、災害発生時のリアルタイムな状況把握による、避難判断の早期化
- ・ 災害発生時の周辺の被災状況、避難所の状況などに応じた、市町域を越えた、適切な避難誘導可能

### ● 県関係課の取組方向性

- ・ 浸水想定区域、急傾斜地等の防災・災害関連情報について、オープンデータ化に向けた整理

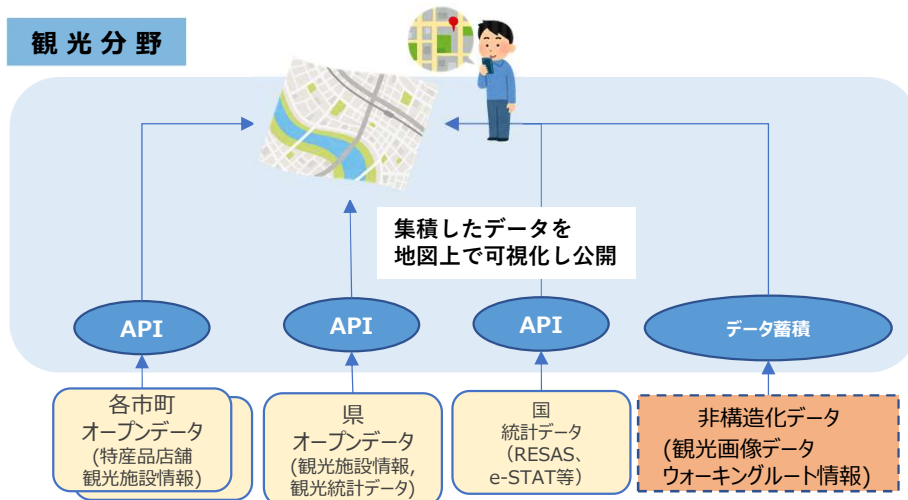
### ● 各市町へのお願い事項

- ・ 指定避難所、ハザードマップ等の防災関連情報のオープンデータ化

### ● 民間企業との連携

- ・ 民間企業のもつ防災関連情報のオープンデータ化及びデータ連携について協議

### 観光分野



### <目指す姿>

- ・ 観光関係者がデータに基づいた、より効果ある観光コンテンツ構築を行うことによる、各地域における観光客の増加
- ・ 観光関連情報のオープンデータ化による、特産品、観光施設情報等に関する情報発信の推進

### ● 県関係課の取組方向性

- ・ 観光統計データや旅ネットに掲載している観光情報（施設情報、写真など）について、オープンデータ化に向けた整理

### ● 各市町へのお願い事項

- ・ 観光施設、物産品店舗情報など観光関連情報のオープンデータ化

### ● 民間企業、団体との連携

- ・ 民間企業、団体のもつ観光関連情報のオープンデータ化及びデータ連携について協議